

日本学校音楽教育実践学会

第22回全国大会プログラム —『音楽教育実践学事典』出版記念—

- ◆主催 日本学校音楽教育実践学会
- ◆後援 千葉県教育委員会, 松戸市教育委員会, 群馬県教育委員会
茨城県教育委員会, 埼玉県教育委員会
- ◆開催日 2017年(平成29年)8月19日(土)・20日(日)
8月19日(土)セミナー「芸術家が語る〈創造すること・思考すること〉」
- ◆会場 聖徳大学 <http://www.seitoku.jp/univ/>
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550

■連絡先 第22回大会事務局：清水 匠（茨城大学教育学部附属小学校）

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸2-6-8

Tel. 029-231-2831 Fax. 029-227-2358

Email: takumi.shimizu.vivace@vc.ibaraki.ac.jp (at)は、@に変えて下さい。

*お問い合わせはなるべくメールでお願いします。

■参加費 大会参加費：4000円／懇親会費：5000円／セミナー参加費：2500円（材料費込み）

■日程

8月19日(土)

9:30 10:00 12:00 13:00 15:15 15:45 17:30 17:50 19:50

受付	セミナー	昼食	自由研究1-10	休憩 移動	授業開発プロジェクトI-V	休憩 移動	懇親会
----	------	----	----------	----------	---------------	----------	-----

8月20日(日)

8:30 9:00 10:40 11:00 12:20 13:30 14:00 16:00

受付	自由研究11-20	休憩 移動	フォーラムI-V	昼食	総会	課題研究
----	-----------	----------	----------	----	----	------

セミナー

「芸術家が語る〈創造すること・思考すること〉」その2 和紙作家 堀木エリ子

このセミナーでは、芸術家のものづくりの過程に注目し、芸術家における創造的な思考について考えていくことが趣旨となります。音楽に限らず、多様な芸術活動に視野を広げ、様々な分野で活躍されている芸術家を講師にお招きし、人間は素材とどう向き合い、どう相互作用し、そしてどのような思考過程を経て芸術作品を形づくっているのか、自らの創造行為について語っていただきます。ワークショップ的な要素を取り入れることで、実際に感覚器官を働かせて参加していただけるセミナーにしたいと考えています。

今年は、銀行員から和紙作家に転身され、独自の手法を用い、建築・インテリア用和紙を作成し、和紙の可能性を広げておられる堀木エリ子先生をお迎えします。和紙づくりのワークショップを通して、和紙を通じた数々の新たな挑戦についてご講演いただきます。

課題研究

「音楽科で育成すべき資質・能力とその評価 —生成の原理に基づく音楽科授業—」

その2 生成の原理に基づく音楽科授業で育つ資質・能力

本学会では、これから五カ年計画で取り組む課題研究のテーマに「音楽科で育成すべき資質・能力と授業実践—生成の原理に基づく音楽科授業—」を設定しました。生成の原理に基づく授業実践において、どのような資質・能力が育成されるのか、理論面および実践面より明らかにし、それらの能力を育成するための到達目標を設定し、そのための授業展開や評価方法の開発を目指します。第2年次は、生成の原理に基づく音楽科授業では、果たしてどのような資質・能力が育成されるのか、その理論的枠組みと具体的モデルを示します。その中でも生成の原理を支えている興味およびコミュニケーションに焦点を当て、実際の子どもの姿からそれらの育ちをどうみるのか、その手がかりを指定討論者よりコメントしていただきます。後半は「生成の原理による音楽科授業でどのような資質・能力が育つのか」をテーマに話題提供者と指定討論者でパネルディスカッションを行います。

司会 福土幸雄(岩手県立総合教育センター)

1 今年次のテーマ設定の趣旨

清村百合子(京都教育大学)

2 話題提供

「生成の原理に基づく音楽科授業で育つ資質・能力」

生成の原理による授業で育つ資質・能力に関する

理論的枠組み

衛藤晶子(畿央大学)

小学校歌唱授業にみる資質・能力の具体的姿

椿本恵子(大阪市立開平小学校)

中学校鑑賞授業にみる資質・能力の具体的姿

高橋宏治(盛岡市立松園中学校)

3 指定討論

「子どもの姿にみる興味やコミュニケーションの育ち」

柴田好章(名古屋大学)

4 パネルディスカッション

「生成の原理に基づく音楽科授業でどのような資質・能力が育つのか」

5 まとめ

生成の原理による授業開発プロジェクト

—仮説生成模擬授業を通して—

授業開発プロジェクトの目的は「模擬授業の体験を通して、新しい音楽の授業像をつかむこと」です。参加者自らが子ども・生徒役となって音楽授業を体験することで、実感をもって授業づくりについて考えることを目指します。

I 多様な子どもがともに学ぶ音楽の授業

—音を音楽へ～通級学級の指導から見えてくること—

○ 関原 彩子(東京都立多摩桜の丘学園)

山本 雅美(八王子市立松が谷小学校)

II イメージを軸とした幼児の表現活動の展開

—お囀子の口唱歌からはじまる表現活動—

○ 小島 律子(大阪教育大学)

岡寺 瞳(畿央大学(非))

III だれもが主体的に取り組む日本伝統音楽の授業

—郷土の音楽を教材とした器楽授業—

○ 廣津 友香(奈良教育大学(非))

平野 真衣(東大阪市立弥栄小学校)

大和 賛(阪南市立貝掛中学校)

IV だれもが主体的に取り組む歌唱の授業

—文化的側面を経験として位置づける歌唱の授業—

○ 小林 佐知子(畿央大学)

小川 由美(琉球大学)

加藤 柚乃(京都府精華町立東光小学校)

V 学生が主体的に取り組む教員養成の授業

—学生が自ら考えようとする「教科専門(音楽)」の授業—

○ 衛藤 晶子(畿央大学)

小栗 祐子(東海学院大学)

フォーラム

フォーラムの目的は、「ある用語を切り口にして、日々の授業を『実践学』としてとらえ直すこと」です。

本年『音楽教育実践学事典』が刊行されました。その『音楽教育実践学事典』に掲載されている用語が会場ごとに提示されます。用語にかかわる視点をもって実践ビデオや資料を視聴します。そして、それぞれの考えを交流することで、参加者自らが新たな視点をもって授業実践をとらえ直し、授業にある論理や筋道、関連性を見い出していくことを目指します。

I 3章 「教育目標と教育内容」

用語 【音楽科の教科内容】

チーフ：横山 真理(東海学院大学短期大学部)

II 5章 「教材の働きと開発」

用語 【教材の開発】

チーフ：藤本 佳子(大阪教育大学附属平野小学校)

III 7章 「音楽科の拡がり」

用語 【他媒体をかかわらせた音楽科実践】

チーフ：渡邊 真一郎(京都府亀岡市立蒔田野小学校)

IV 8章 「幼児の音楽表現」

用語 【幼小連携・接続】

チーフ：岡本 拓子(高崎健康福祉大学)

V 9章 「特別支援教育」

用語 【支援者の役割】

チーフ：洞 孔美子(大阪府立枚方支援学校)

自由研究

自由研究1

司会 福土 幸雄(岩手県立総合教育センター)

松本 康子(大阪市立巽東小学校)

1 初等教員養成における表現力の育成

—身体活動を取り入れた実践—

安藤 江里(松本大学)

2 小学校低学年における郷土音楽学習の可能性

—生活に根づくカチャーシーの身体性に着目して—

小川 由美(琉球大学)

3 器楽表現において身体の機能を発揮させる授業構成の視点

鉄口 真理子(大阪成蹊大学)

自由研究2

司会 古山 典子(福山市立大学)

玉井 操(都立総合芸術高校)

1 音楽的諸要素の認識と動きの分析に基づいた幼児の音楽的表現の特徴 —5歳児を中心に—

佐野 美奈(大阪樟蔭女子大学)

2 音階と旋律の関係についての圏論的考察

—射、関手、自然変換に着目して—

松下 行馬(神戸市立水木小学校)

3 アンサンブルの演奏表現における知識の再構成

—知識創造の観点からII—

島川 香織(関西国際大学)

□自由研究3

司会 笠井 かほる (埼玉学園大学)
松園 聡美 (中村学園大学短期大学部)

- 子ども理解を深めるための一考察 (1)
—幼児の表現遊びを通して見えてくるもの—
居原田 洋子 (美作大学短期大学部)
- 保育内容領域「表現」に関する授業における学生の気づきを促す環境構成の要素
—身近な素材による音遊びの活動の事例分析を通して—
横山 真理 (東海学院大学短期大学部)
- 保育養成における音楽表現のリフレクションシートの記述内容に基づく学びの可視化
溝口 希久生 (東亜大学)

□自由研究4

司会 寺田 己保子 (埼玉学園大学)
室町 さやか (山梨学院短期大学)

- 保育における音楽についての一考察 (3)
若谷 啓子 (帝京大学)
- 保育における音環境
岡本 拓子 (高崎健康福祉大学)
- 教員・保育士養成における劇あそびの指導に関する実践
齊藤 淳子 (川口短期大学)

□自由研究5

司会 齋藤 一雄 (聖学院大学)
洞 孔美子 (大阪府立枚方支援学校)

- 特別支援教育におけるわらべうたを使ったリトミックの一考察
井上 薫 (大阪府藤井寺市立道明寺南小学校)
- 小学校通常学級におけるインクルーシブ教育を目指した音楽科の授業構想
古澤 誠朗 (大分県立別府支援学校)
- 広汎性発達障害をもつ生徒の音楽的発達と意識的変化
—ピアレッスンを通した一考察—
生田 美子 (東京学芸大学大学院生)
- 発達上の問題による音楽授業でのつまずき及びその対処法
—授業のユニバーサルデザインを視野に入れて—
阪井 恵 (明星大学)

□自由研究6

司会 岡田 知也 (香川大学)
竹内 悦子 (京都教育大学 (非))

- 音楽科教育法における児童・生徒の意識に基づく教材研究の指導
○山本 幸正 (国立音楽大学)
鶴岡 翔太 (国立音楽大学大学院生)
- 学生の音楽観の拡大を目指した初等音楽科教育法における授業実践の形相
—TAの視点から—
斎藤 理加 (福井県鯖江市鳥羽小学校)
- 初等音楽科教育法の授業における「ICT活用指導力」の育成
田中 龍三 (大阪教育大学)
- 単元法による初等音楽科教育法シラバスの構造化の試み
高橋 澄代 (京都教育大学 (非))

□自由研究7

司会 谷 千春 (大阪府寝屋川市立啓明小学校)
中村 美雪 (岐阜市立加納西小学校)

- 音楽授業における教師の発問と子どもの思考との関係
石光 政徳 (大阪府池田市立緑丘小学校)
- 音楽鑑賞学習における課題設定の考察
森保 尚美 (広島女学院大学)
- 音楽科の問題解決学習における子どもの問題意識の変容
—録音再生による反省に着目して—
藤本 佳子 (大阪教育大学附属平野小学校)

□自由研究8

司会 関原 彩子 (東京都立多摩桜の丘学園)
山内 雅子 (上野学園大学)

- 音楽科授業でのコミュニケーションにおける媒体の関わり
渡邊 真一郎 (京都府亀岡市立葦田野小学校)
- 主体的な学びの可能性
—小学生の音楽嗜好が示唆するもの—
吉村 治広 (福井大学)
- 学習集団内の異質性と想像的思考力との関連
—小学校音楽づくり活動での問題解決場面に着目して—
金城 光彩 (沖縄県宜野湾市立はごろも小学校)
- 学ぶ意欲を育て、協同して表現を高める学習の試み
—保育養成における、他者との応答性を重視した横断的な授業—
猶原 和子 (江戸川大学)

□自由研究9

司会 金指 初恵 (帝京大学 (非))
嶋田 由美 (学習院大学)

- 音楽授業の場面に見られる教師の指導技術
松永 洋介 (岐阜大学)
- 学級担任が音楽で楽しく授業をするための手法
—通信教育部初等音楽科教育法の受講生の場合—
平田 千秋 (東京純心大学)
- 若手音楽教師の授業力向上を支えるメンタリングプログラムの試み
—対話による子どもの主体的な学びを促すために—
谷本 直美 (桐蔭横浜大学)
- 大人のためのソルフェージュ
—効果的学習方法の探究—
館岡 真澄 (武蔵野音楽大学 (非))

□自由研究10

司会 柿谷 隆子 (京都市立東山泉小中校)
酒井 美恵子 (国立音楽大学)

- テルミンの教材性
—オルフとの関連を探る—
木暮 朋佳 (美作大学短期大学部)
- ESD理念に基づくわらべうた教材の開発とその意義
—教員養成の実践を通して—
劉 麟玉 (奈良教育大学)
- 外国語の歌唱導入に有効な教材開発の試み
—高等学校における音楽授業実践を通して—
宮澤 多英子 (吉祥女子中学・高等学校)
- 保育・教育現場におけるオリジナル曲の可能性
津布楽 杏里 (貞静学園短期大学)

□自由研究11

司会 田代 若菜 (江戸川区立下小岩第二小学校)
西沢 久実 (神戸市立神戸祇園小学校)

- 1 幼児のわらべうたによる表現活動と直接経験とのかかわり
小林 佐知子 (畿央大学)
- 2 わらべ歌遊びから発展させた歌唱授業のあり方についての考察
— 「どんどんばし」を教材とした小学校3年生の実践から—
清水 美穂 (徳島県吉野川市立知恵島小学校)
- 3 わらべ歌遊びにおける子どもの気づきからつくる音楽科授業
— 小学校3年生の実践より—
廣津 友香 (奈良教育大学 (非))

自由研究 12

- 司会 田村 にしき (東京福祉大学)
土師 尚美 (大阪府池田市立秦野小学校)
- 1 鑑賞の授業に向けた、自ら聴取の観点を設定するトレーニング
— JR 東日本「駅発車メロディー」を活用して—
芳賀 均 (北海道教育大学)
 - 2 「図形楽譜づくり」による鑑賞授業の一考察
島本 政志 (大阪府寝屋川市立東小学校)
 - 3 物語づくりを用いた鑑賞学習
山崎 浩隆 (熊本大学)

自由研究 13

- 司会 高田 奈津子 (京都府立鳥羽高等学校)
多賀 秀紀 (奈良女子大附属中等教育学校)
- 1 鍵盤ハーモニカを使った音楽づくり
— 絵画をイメージして—
岩瀬 由佳 (長崎純心大学)
 - 2 歌唱指導におけるイメージ形成の深化を促す視覚的情報の選択
観点
尾崎 祐司 (上越教育大学)
 - 3 音楽づくりの授業における子どもの目論見形成にみるイメージネ
ーションの働き
岡寺 瞳 (畿央大学 (非))

自由研究 14

- 司会 阪井 恵 (明星大学)
西井 薫 (京都教育大学)
- 1 声によるふしづくり V
— ふしづくりで育つ力—
桐山 由香 (大阪教育大学附属池田小学校)
 - 2 ≪こいのぼり≫をめぐる音楽活動でのルーブリック活用
塚本 伸一 (東海大学付属静岡翔洋小学校)
 - 3 「音楽科の指導法」模擬授業実践における評価についての研究
渡会 純一 (東北福祉大学)

自由研究 15

- 司会 小林 田鶴子 (神戸女子大学)
中島 卓郎 (信州大学)
- 1 保育者養成におけるピアノ教授法の一考察
— グループレッスンをを行うための教材開発とその効果—
高崎 展好 (環太平洋大学)
 - 2 保育者養成における楽曲のイメージ表現を軸としたピアノ実技
指導
中村 愛 (滋賀文教短期大学)
 - 3 保育者養成課程でのピアノグループレッスンにおける学生Aの変
容過程
小栗 祐子 (東海学院大学)

自由研究 16

- 司会 伊野 義博 (新潟大学)
福島 直美 (金沢市立浅野川中学校)
- 1 民謡《ソーラン節》を教材とした音楽科鑑賞授業における探究過
程
永松 かなえ (琉球大学大学院生)
 - 2 郷土の音楽の授業における伝承空間の再現による学習経験の拡
がり
— 天神祭「どんどこ船」におけるお囃子を教材として—
椿本 恵子 (大阪市立開平小学校)
 - 3 地車曳行図作成場面における音空間の特質の共有
— 郷土の音楽《地車囃子》の創作より—
山本 真弓 (前大阪府河内長野市立長野中学校)

自由研究 17

- 司会 笹野 恵理子 (立命館大学)
若宮 由美 (埼玉学園大学)
- 1 小学校低学年児童の音楽表現における文化相対主義的な活動の
可能性
八代 健志 (福井大学 (非))
 - 2 多文化音楽を授業に取り入れていくことの意義と可能性
高橋 詩穂 (京都教育大学附属桃山小学校)
 - 3 国際バカロレア (IB) 初等教育プログラム (PYP) におけるカリキ
ュラム分析 — 音楽の授業実践を通して—
安江 真由美 (愛知学泉大学)

自由研究 18

- 司会 寺井 郁子 (大和大学)
牧野 利子 (川口短期大学)
- 1 指導内容を関連させた「教科専門科目」の授業構成
衛藤 晶子 (畿央大学)
 - 2 保育者・小学校教員養成校における音楽の指導方法に関する研究
二宮 貴之 (聖隷クリストファー大学)
 - 3 小学校教員養成課程における学生のリズム表記に関する考察
宮 祐子 (東京家政大学)

自由研究 19

- 司会 藤田 桂子 (愛知江南短期大学)
三橋 さゆり (埼玉大学)
- 1 幼児期における音色の探究活動
三輪 雅美 (修文大学短期大学部)
 - 2 音・音楽で創造の世界を展開する幼児の表現遊び
日笠 みどり (大阪成蹊大学 (非))
 - 3 幼児を惹きつける能の魅力 (その2)
— 型の模倣にみられる表現に着目して—
長谷川 真由 (洗足学園音楽大学 (非))

自由研究 20

- 司会 浅野 幸乃 (鴨谷学園鳳幼稚園)
加藤 柚乃 (京都府精華町立東光小学校)
- 1 主体的・協働的な学びを育む単元構成
— 小学校低学年の直接経験を基にした音楽づくりを通して—
松宮 陽子 (兵庫県西宮市立東山台小学校)
 - 2 音楽科授業における協働的な学習の発展的様相
— 共通問題の成立に着目して—
岡崎 基 (京都教育大学大学院生)
 - 3 中学校音楽授業のグループでの協同学習における教材構成
大和 賛 (大阪府阪南市立貝掛中学校)